

第7 健康支援課

1 母子保健対策

(1) 長期療養児等療養相談事業

ア 療養相談指導事業

① 療育相談指導事業

事業内容(概略など)	参加スタッフ	開催回数	参加人数 (実人数)
長期療養児をもつ保護者に対して、家庭における療養上の指導を行うとともに、福祉制度の紹介、精神的支援、その他の日常生活等に関し必要な内容についての相談指導を行う。	保健所保健師	随時	保護者：56人 (28人) スタッフ：4人

② 巡回相談指導事業

事業内容(概略など)	実施市町村	開催回数	参加人数 (延人数)
理学療法士市町村支援【概要：市町村において関わりのある児やその保護者に対して、理学療法士が事業等に介入し、児の状況を把握した上で専門的な相談指導を行う。また、市町村保健師等が児や保護者に対して適切に関わることにより、児の成長発達を促す。】	5市町村	延19回	児・保護者： 197人 スタッフ： 95人

イ 養育者等支援事業

① ピアカウンセリング

日時	参加者数	(再掲) 児	内容
H25. 8. 30 10:00~12:00	3名	3名	先輩ママから育児についての助言等
H26. 1. 10 13:30~15:30	3名	4名	先輩ママへの相談等
計 2回	6名	7名	

② 交流会・学習会、ペアレントトレーニング

日時	参加者数	(再掲) 児	内容
H25. 6. 14 13:30~15:45	4名	4名	学習会「未熟児の成長発達について」
H25. 8. 30 10:00~12:00	3名	3名	交流会 ※ピアカウンセリングと同時開催
H26. 1. 10 13:30~15:30	3名	4名	交流会「成長ホルモン分泌不全性低身長症のつどい」 ※ピアカウンセリングと同時開催
計 3回	10名	11名	

ウ 支援関係機関（者）連絡会議

事業内容（概略など）	参加スタッフ	開催回数	参加人数
疾病や障害等によって複雑困難な健康課題を抱えている対象児及び養育者に、医師・心理職等を交えた関係機関（者）による連絡会議等を開催し、関係者の支援体制を整備する。	保健所保健師 保健所理学療法士 保健所管理栄養士	4回	46人

エ 遺伝等母子保健専門相談

- ① 一次相談 2件
- ② 二次相談 1件

(2) 母子保健推進業務

母子保健水準の向上を図り、管内地域における母子保健の基盤整備、関係機関の連絡調整及び地域組織等の育成等総合的な支援体制の整備等を推進するため、以下のとおり事業を実施した。

ア 母子保健推進会議
未実施

イ 母子保健関係者研修会

日 時	内 容
H25年11月8日	テーマ：「赤ちゃんの健やかな発達のために」 講 師：山梨県立中央病院 新生児科 内藤敦 先生 内 容：低出生体重児の成長・発達、病院でのフォローアップ、 退院後の母子への指導方法について学んだ。
場 所	
富士吉田合同庁舎 2階 大会議室	
出席者	
各市町村、保健所保健師 20名	

ウ 市町村母子保健担当者会議

日 時	内 容
H25年5月1日	① 富士・東部保健福祉事務所母子保健事業・取り組みについて ② 各市町村母子保健事業・取り組みについて ③ 情報提供 ・平成23年度富士・東部管内母子保健統計について ・各研修会について ④ 口唇口蓋裂児の家族会からの活動紹介
場 所	
富士吉田合同庁舎 2階 大会議室	
出席者	
市町村母子保健担当者 保健所健康支援課長・母子 保健担当者 21名	

(3) 小児医療対策

保健所における小児医療給付には、小児慢性特定疾患治療研究事業があり、申請時に保護者と面接を行い、療育上の相談と医療費の公費負担を行っている。平成25年4月から、未熟児養育医療給付と自立支援医療（育成医療）給付の実施主体は、各市町村となった。

小児慢性特定疾患治療研究事業

(単位：人) (平成26年3月末現在)

	富士吉田市	都留市	大月市	上野原市	道志村	西桂町	忍野村	山中湖村	鳴沢村	富士河口湖町	小菅村	丹波山村	計
悪性新生物	10 (2)	2		2 (1)		1		2 (1)	1	3			21 (4)
慢性腎疾患	3 (2)	2	2	3 (1)			1			2 (1)			13 (4)
慢性呼吸器疾患	2		1 (1)				1			1 (1)			5 (2)
慢性心疾患	6 (1)	1	2				1 (1)			2		1 (1)	13 (3)
内分泌疾患	29 (2)	12	2	4		3	4 (2)	4		5		1 (1)	64 (5)
膠原病		1		1			2			1			5 (0)
糖尿病	2 (1)						2						4 (1)
先天性代謝異常	1	2				1							3 (0)
血友病等血液疾患	1								1 (1)				2 (1)
神経・筋疾患	3	1		4 (1)						1			9 (1)
慢性消化器疾患	4		2					1		2 (1)			9 (1)
計	61 (8)	21 (0)	9 (1)	14 (3)	0 (0)	4 (0)	11 (3)	7 (1)	2 (1)	17 (3)	0 (0)	2 (2)	148 (22)

うち()内 平成25年度新規

(4) 先天性代謝異常等検査

フェニルケトン尿症等の先天性代謝異常は、放置すると知的障害等の症状をきたすおそれがあるので、新生児に対して血液によるマス・スクリーニング検査を実施している。

※平成25年度要精密検査対象児は0名。

(5) 新生児聴覚検査事業

聴覚は乳幼児の音声発語の獲得、発達に欠かせないものであり、児の健やかな成長、将来の社会参加のために大切である。新生時期にスクリーニング検査を行うことで、早期に難聴を発見し、脳が柔軟な乳児期に適切な療育を行う必要があることから本事業を行っている。

※平成25年度要精密検査対象児は2名。

(6) 不妊に悩む方への特定治療支援事業

不妊治療のうち、保険外診療である特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)については、治療費が高額で経済的負担が重いこと、その軽減を図ることを目的にその費用の一部を平成16年度から助成している。

平成19年度から年2回まで助成できるよう改正され、平成21年度からは1回あたりの助成限度額が10万円から15万円に拡充された。平成23年度からは初めて本助成制度を申請する方に限り、申請初年度のみ年間の助成回数は3回までとなった。

平成25年度からは、治療の種類により、助成限度額が7万5千円または15万円と改正された。

平成25年度市町村別助成件数

	実件数	延件数
富士吉田市	21	41
都留市	16	28
大月市	13	20
上野原市	14	25
道志村	1	1
西桂町	1	1
忍野村	3	4
山中湖村	5	9
鳴沢村	2	4
富士河口湖町	23	47
小菅村	0	0
丹波山村	0	0
計	99	180

2 母子保健地域組織の育成

母と子の健康を中心に地域住民の健康づくりを目指して、自主的な活動ができるよう、地域組織の育成を実施した。

(1) 母子保健地域組織一覧

平成 25 年 6 月 30 日現在

連合加入	組 織 名	結成年月	組織形態	世帯数 H26. 3. 1 現在	会員数	班数	分班数	班員数 (人)
○	大月市愛育会	S34. 1 (H9. 10 改)	保健活動 推進員会	10,065	10,695	1	9	131
○	上野原市愛育連合会	S33. 12 (H17. 4 改)	単独	9,957	161	3	4	161
○	忍野村愛育会	S35. 4	婦人会即	2,858	2,030	1	7	52
○	山中湖村愛育会	S33. 3	婦人会即	1,853	2,169	1	6	25
	鳴沢村母子愛育会	S34. 4	婦人会即	1,054	485	1	2	56
○	小菅村愛育会	S47. 4	婦人会即	326	334	1	8	24

※H25. 9. 6～ 都留市愛育会発会 連合加入(○)、組織形態(単独)

(2) 愛育組織育成状況

ア 研修等

開催年月日	場 所	内 容	参加 (人)
H25. 4. 23	富士吉田合同庁舎	総会記念講演・班員研修会① 講義 「愛育のこころとは」 講師:恩賜財団母子愛育会 大場エミ 氏	64
H25. 6. 25	南アルプス市	理事研修① 先進地見学 「南アルプス市源地区愛育会の歴史、愛育班活動について」 講師:南アルプス市愛育連合会	17
H25. 10. 31	富士吉田市立 下吉田第二小学校	班員研修会② 講義・赤ちゃん抱っこ体験(※愛育班地域支援事業) 「生命の授業～一ばん大切なあなたの生命～」 講師:新藤京子 氏	68
H25. 11. 6	大月市民会館	活動発表会 各地区愛育班の実践活動発表	121
H26. 3. 19	富士吉田合同庁舎	理事研修② 講義 「愛育会活動で大事にしたいもの～引継ぎについて考えよう～」 講師:富士・東部保健所技術次長 池谷澄香氏	24
計			294

イ 会議等

開催年月日	場 所	内 容	参加 (人)
H25. 4. 8	富士吉田合同庁舎	第1回 理事会	12
H25. 4. 23	富士吉田合同庁舎	定期総会	64
H25. 5. 22	富士吉田合同庁舎	第1回 役員会	5
H25. 6. 13	富士吉田合同庁舎	第2回 役員会	6
H25. 6. 25	富士吉田合同庁舎	第2回 理事会	17
H25. 7. 10	富士吉田合同庁舎	第3回 役員会(臨時)	6
H25. 8. 6	富士吉田合同庁舎	第4回 役員会(臨時)	5
H25. 9. 18	大月市民会館	第5回 役員会	5
H25. 10. 15	富士吉田合同庁舎	愛育班地域支援事業研修会 (愛育班員研修会) 準備会議	24
H25. 10. 22	富士吉田合同庁舎	第6回 役員会(臨時)	6
H25. 12. 12	富士吉田合同庁舎	第7回 役員会	6
H26. 1. 20	富士吉田合同庁舎	第8回 役員会(臨時)	6
H26. 3. 25	富士吉田合同庁舎	第9回 役員会	5
H26. 3. 19	富士吉田合同庁舎	第3回 理事会	14
計		86	181

ウ 市町村支援

開催年月日	実施主体	内 容	参加(人)
H25. 4. 5	忍野村愛育会	忍野村定期総会	約100
H25. 4. 26	大月市保健活動推進員会	大月市保健活動推進会総会	約80
H25. 4. 30	上野原市愛育連合会	上野原市愛育連合会定期総会	約30
H25. 5. 23	山中湖村婦人会	山中湖村婦人会(愛育会)総会	約30
H25. 9. 6	都留市愛育連合会	都留市愛育会発会式	約70
計			約310

3 看護推進対策

(1) 保健師就業状況

ア 市町村保健師設置状況

単位：人（平成26年3月末現在）

市町村名	人口	保健師 総数	雇用形態		所属			
			正規	嘱託・臨時	保健	福祉	介護	医療・看護学校
富士吉田市	49,247	17	17		7	2	6	2
都留市	32,980	12	10	2	9	1	2	
大月市	26,315	10	10		9		1	
上野原市	25,650	10	10		7	2	1	
道志村	1,827	2	2		2			
西桂町	4,390	3	3		2		1	
忍野村	8,786	5	5		4		1	
山中湖村	5,235	4	4		2		2	
鳴沢村	2,943	3	3		3			
富士河口湖町	25,621	10	9	1	6	1	3	
小菅村	714	1	1		1			
丹波山村	607	2	2		2			
管内合計	184,315	79	76	3	54	6	17	2

* 人口はH25年3月1日の推計人口

イ その他保健師設置状況

単位：人

所属名	保健師数
ファナック健康管理センター	2
山梨日本電気株式会社	1
都留児童相談所	1
富士・東部保健福祉事務所	8

(2) 現任教育

ア 新任期・中堅期・リーダー期保健師研修

地域診断に必要な能力を高め、現場で協力しながら実施できる技術を身につける。

「山梨県現任教育マニュアル」に基づいた保健師各期における専門能力の向上を目指す。

日 時	場 所	内 容	人数
H25年 7月8日(月) 13:30～ 16:00	富士吉田合同庁舎 2階 大会議室	講 義 「地域診断について」 講 師：中北保健福祉事務所 健康支援課 副主幹 渡辺千奈美保健師 発 表 平成24年度新採用研修で取り組んだ「地域診断」 及び所属の取り組みについて 山中湖村地域包括支援センター 小佐野あゆみ保健師 富士・東部保健福祉事務所健康支援課 保坂直美保健師 演 習 「地域診断」 各所属に分かれて作業	25人
H25年 9月12日(木) 13:30～ 16:00	富士吉田合同庁舎 3階 中会議室	発 表 「地域診断（中間発表）」 (1市町村7分、コメント3分) 助 言 山梨県立大学 看護学部 看護学科 村松照美教授	23人
H25年 11月22日(金) 13:30～ 16:00	富士吉田合同庁舎 2階 大会議室	発表 「地域診断」 1所属7分 講義 「PDCAサイクル、地域診断から事業展開へ」 講師 山梨県立大学 看護学部 看護学科 教授 村松照美	15人

イ 保健師全体研修

【健康危機管理】

日時	場 所	内 容	人数
H25年 12月10日 10:00～ 12:00	富士吉田合同庁舎 2階大会議室	健康危機管理研修 「災害時における保健師活動マニュアル」 県医務課 「防災時の心構え」 富士・東部地域県民センター	35人

ウ 保健師業務研究会

保健師活動を推進する上で、保健師の専門性を深めるために、実践的な技術の向上を図ることを目的に実施した。 ※現任教育と合同開催あり。

日 時	場 所	内 容	参加者数
H25 年 5 月 13 日 13:30~16:00	富士吉田 合同庁舎	1) 新任職員紹介 2) 各市町村・保健所の事業紹介 3) 平成 24 年度新人・プリセプター保健師研修会について 4) 口腔保健センター業務内容について 5) 今年度の業務研究会の内容について	20 人
H25 年 7 月 8 日 13:30~16:30	富士吉田 合同庁舎	地区診断 1) 講義 「地域診断」 講師 中北保健所 渡辺千奈美保健師 2) 発表 平成 24 年度新採用研修で取り組んだ「地域診断」及び所属の取り組みについて 山中湖村地域包括支援センター小佐野あゆみ保健師 富士・東部保健福祉事務所 保坂直美保健師 3) 演習	25 人
H25 年 11 月 11 日 13:30~16:00	富士吉田 合同庁舎	地区診断 1) 各所属発表 2) 講義「地域保健活動過程とは」 講師：山梨県立大学看護学科 村松照美 教授	15 人
H26 年 3 月 10 日 14:00~16:00	富士吉田 合同庁舎	1) 反省と来年度の計画 2) 保健師経験別自己評価まとめの情報提供 3) 伝達研修 ・保健師臨床研修 ・アレルギー研修	20 人
		合 計	80 人

(3) 地域看護推進業務

ア 管内病院看護部長・総看護師長会

看護管理としての看護現場の課題検討と情報交換を実施した。

日 時	場 所	内 容	参加者数
H25年 6月28日(金) 14:00~16:30	富士吉田合同庁舎	1) 各病院の看護師確保・定着対策・現任教育への取り組み状況について 2) 1日看護師事業の実施状況について	10人
H26年 1月17日(金) 14:00~16:30	富士吉田合同庁舎	1) 各病院の看護師確保・定着対策について 今年度の実績及び課題 来年度の取り組みについて 2) 看護職の夜勤、交代制勤務に関するガイドラインについての情報交換 3) その他 看護職就職説明会について 1日看護師体験事業について	10人

イ 市町村保健師業務連絡会・打ち合わせ会

広域的立場から市町村保健師と情報交換や業務の見直しについて検討会等を実施した。

市町村名	内 容	回数
富士吉田市	業務打合会（母子担当）	1
都留市	業務打合会	1
	乳幼児育成指導事業運営会議	1
大月市	業務打合会	1
	モデル市町村支援体制サポート強化事業	4
上野原市	業務打ち合わせ会	1
道志村	業務連絡会	1
西桂町	業務連絡会	1
忍野村	業務連絡会	1
富士河口湖町	中学生の禁煙教育関係	5
	神経難病患者の情報交換会	1
小菅村	業務連絡会	1
	業務打合せ会	3
丹波山村	業務連絡会	1

(4) 在宅医療推進事業 (在宅ターミナルケア等地域連絡会議)

超高齢化社会を迎えるに伴い増大する医療ニーズに対応し、住み慣れた生活の場において必要な医療・介護サービスが受けられる社会の実現に向け、在宅医療の推進を図る事を目的に実施した。

ア 在宅医療多職種連絡会議

医療・福祉・介護従事者がお互いの専門的な知識を活かしながらチームにより患者・家族をサポートしていく体制の構築に向け、在宅医療と福祉・介護の連携推進を図るための協議の場。

日 時	場 所	内 容	参加者数
H25 年 8 月 27 日(火) 13:30~15:30	南都留合同庁舎 3 階大会議室	第 1 回在宅医療多職種連絡会議 報告事項 1) 在宅医療におけるこれまでの保健所のとりくみについて 2) 国・県における今年度の在宅医療に関する取り組みについて 3) 富士・東部保健福祉事務所管内における今年度の在宅医療に関する取り組みについて 協議事項 1) 『介護・医療連携ツール実践モデル事業』について 大月市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 小澤洋子氏 2) クリーンベンチ（薬剤の無菌調剤）の設置状況について 富士五湖調剤薬局長 中西美那子氏 3) 管内の在宅医療連携に関する状況について 4) 在宅連携支援プログラムの策定について 『在宅医療・介護の手引き（仮称）』	25 人
H25 年 12 月 24 日(火) 13:30~15:30	南都留合同庁舎 3 階大会議室	第 2 回在宅医療多職種連絡会議 報告事項 1) 第 1 回在宅医療多職種連絡会議について 2) 『介護・医療連携ツール実践モデル事業』について 3) 富士・東部地域患者情報共有システム (Ft-Net) について 協議事項 1) 第 1 回在宅医療多職種人材育成事業地域リーダー研修会グループワークであきらかになった現状・課題について 2) 在宅連携支援プログラムについて 「在宅医療・介護の手引き（仮称）」（作業部会） 3) 住民向け在宅医療普及啓発事業について	20 人
H25 年 10 月 23 日(水) 14:00~16:00	富士吉田合同 庁舎 3 階中会 議室	第 1 回在宅医療多職種連絡会議作業部会 1) 管内版 在宅連携支援プログラム「在宅医療・介護の手引き（仮称）」 2) 今後の計画、方向性について	11 人
H26 年 3 月 13 日(木) 13:30~15:30	富士吉田合同 庁舎 2 階 大 会議室	第 2 回在宅医療多職種連絡会議作業部会 1) 管内版「在宅医療・介護の手引き（仮称）」の作成について 富士・東部地域における医療と介護の連携図（案） 2) インフォーマルサービス・ソーシャルキャピタル調査結果について	7 人

イ 在宅医療多職種人材育成事業

在宅医療を実践する際、お互いの専門的な知識を活かしながらチームにより患者・家族をサポートしていく体制の整備に向け、多職種協同による在宅医療チームの担い手となる人材を育成するための研修会を行う。

日 時	場 所	内 容	参加者数
H25 年 11 月 6 日(水) 18:30～20:30	都留市消防本部 2階会議室	第1回目 講 演「在宅医療が果たすべき役割と多職種連携の必要性について」 医療法人社団つくし会新田クリニック 新田國夫 理事長 グループワーク 「多職種連携を推進する為にどのような取り組みが必要か」 参加者：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、栄養士、 歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、行政 保健師など	50人
H26 年 2 月 24 日(月) 18:30～20:30	都留市消防本部 2階会議室	第2回目 実際の事例を用いて在宅医療を支える為の多職種の役割と連携を考える。 グループワーク 「自分たちの地域でどのような支援ができるか？」 「患者・家族の思いをどのように受け止め、支援していくか？」 参加者：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、栄養士、 歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、行政 保健師など	47人

ウ 在宅医療普及啓発事業

要介護状態になっても、自分の住み慣れた家や地域で過ごす事ができるという在宅医療やそれに従事する職種の機能や役割を広く地域住民に紹介するための講演会等を開催する。

日 時	場 所	内 容	参加者数
H26 年 3 月 8 日(土) 14:00～16:00	都留市まちづくり交流センター	1) 管内における在宅医療推進事業の取り組みについて 富士・東部保健福祉事務所 櫻井希彦保健所長 2) 講 演「最後まで在宅は可能か？」 ノンフィクション・ライター中澤まゆみ氏	48人

(5) 看護普及啓発

ア 一日看護師

管内の高校生を対象に、看護に対する正しい知識と理解を深めるとともに、看護職選
択への動機づけの一助とすることを目的に実施した。

実施月日	病 院 名	参加高校名	参加生徒数 (男子再掲)
H25年 6月17日	都留市立病院	都留高等学校	14(2)
	上野原市立病院	日大明誠高等学校	6(0)
6月18日	富士吉田市立病院	吉田高等学校 富士河口湖高等学校 富士学苑高等学校 富士北陵高等学校	50(4)
	山梨赤十字病院	富士河口湖高等学校 桂高等学校	20(6)
	上野原市立病院	上野原高等学校	6(0)
6月19日	三生会病院	上野原高等学校	12(3)
	回生堂病院	日大明誠高等学校 桂高等学校	17(0)
	ツル虎ノ門外科・リハビリ テーション病院	日大明誠高等学校	6(2)
6月20日	山梨赤十字病院	桂高等学校	19(2)
6月21日	山梨赤十字病院	富士河口湖高等学校 都留高等学校	20(1)
	大月市立中央病院	上野原高等学校 大月短大附属高等学 校 谷村工業高等学校	15(1)
合 計	病院数 8	高校数 10	185(21)

イ 看護の心普及キャンペーン

「フェスタ看護」事業の一環として「看護の日」の啓発を図るとともに、看護についての正しい理解と関心を高めるため実施した。

実施年月日	1. 一般県民への普及キャンペーン H25年5月9日(木) H25年5月10日(金) H25年5月13日(月) 2. 一日まちの保健室 H25年7月27日(土) H25年10月12日(土)
実施場所	1. 一般県民への普及キャンペーン 病院正面玄関等 富士吉田市立病院、山梨赤十字病院 駅前及び高校前 JR大月駅、富士急赤坂駅、同都留文大前 2. 一日まちの保健室 市内商店街駐車場 富士山アリーナ
実施内容	1. 一般県民への普及キャンペーン 「看護の日」の説明、看護への関心を高めるような言葉かけ、啓発物品(絆創膏)の配布。 ・骨密度、血管年齢測定 ・ポスターや写真等の展示、DVDを流す 2. 一日まちの保健室 スモーカーライザー、血管年齢チェックを行い、結果説明と保健・禁煙指導を実施。
参加者	管内病院、市町村、富士・東部保健福祉事務所の看護職員

(6) 看護師等再就業相談事業

看護師等の人材確保に関する法律第11条に基づき、看護師等就業協力員として、保健所で「看護師等再就業相談窓口」を開設し、潜在看護力の活用を図る中で看護師等の確保を推進している。

	再就業相談	ナースセンター等の紹介	悩みごと相談
実人員	7人	7人	1人
回数	7回	7回	2回

4 難病対策

原因不明で治療法が確立されていない各種難病については、治療期間も長期にわたり医療費も多額になることから、特定疾患として指定し医療費の給付を行い、患者負担の軽減を図っている。

また、難病患者及びその家族に対し、在宅療養上の適切な支援を行うことにより、安定した療養生活の確保と患者等の生活の質の向上を図れるよう、難病患者地域支援対策推進事業を実施している。

(1) 特定疾患医療受給者数

市町村別特定疾患医療受給者数(単位:件)

平成26年3月31日現在届出

	対象疾患	管内	富士吉 田市	都留市	大月市	上野原 市	道志村	西桂町	忍野村	山中湖 村	鳴沢村	富士河 口湖町	小菅村	丹波山 村
1	ベーチェット病	19	7	4	2	3				1		2		
2	多発性硬化症	27	8	3	2	2		3		2		6	1	
3	重症筋無力症	27	8	7	2	4					2	4		
4	全身性エリテマトーデス	67	21	14	9	2	2	3	2	3		9	2	
5	スモン	1			1									
6	再生不良性貧血	12	4		4	2						2		
7	サルコイドーシス	10	3	3	3							1		
8	筋萎縮性側索硬化症	12	3	1	2	1	1	1	1		1	1		
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	41	7	8	7	4		1	1	1		11		1
10	特発性血小板減少性紫斑病	25	4	5	5	6		1		1		2		1
11	結節性動脈周囲炎	15	3	7	1	3			1					
12	潰瘍性大腸炎	86	19	15	18	10		2	4	4		13		1
13	大動脈炎症候群	6	2	1	2	1								
14	ビュルガー病	11	6	2	2					1				
15	天疱瘡	6	3	1		1								1
16	脊髄小脳変性症	38	11	9	5	7	1	1	1			3		
17	クローン病	22	3	2	5	7			1			4		
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎													
19	悪性関節リウマチ	2				2								
20	パーキンソン病関連疾患	89	22	11	16	13	1	2	1	1		21		1
21	アミロイドーシス	2	2											
22	後縦靭帯骨化症	29	7	2	5	10			1			4		
23	ハンチントン病													
24	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	15	3	3	5	2	2							
25	ウェグナー肉芽腫症	5	1	1	2						1			
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	30	5	9	12	2				1		1		
27	多系統萎縮症	11		3	2	3				1	1	1		
28	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)													
29	膿疱性乾癬													
30	広範脊柱管狭窄症	21	7	3	1			1		2	3	4		
31	原発性胆汁性肝硬変	19	6	3	4	4					1	1		
32	重症急性膵炎													
33	特発性大腿骨骨頭壊死症	12	3	1	3	3				1		1		
34	混合性結合組織病	10	1	2	2	2						3		
35	原発性免疫不全症候群	3		2						1				
36	特発性間質性肺炎	14	4	3	1	1				1		4		
37	網膜色素変性症	29	6	5	5	8	1		1	1	1		1	
38	プリオン病													
39	肺動脈性肺高血圧症	3				1				1		1		
40	神経繊維腫症	6	2	1		2					1			
41	亜急性硬化性全脳炎													
42	パット・キアリ症候群													
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1		1										
44	ライソゾーム病	1				1								
45	副腎白質ジストロフィー													

	対象疾患	管内	富士吉 田市	都留市	大月市	上野原 市	道志村	西桂町	忍野村	山中湖 村	鳴沢村	富士河 口湖町	小菅村	丹波山 村
46	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1										1		
47	脊髄性筋萎縮症													
48	球脊髄性筋萎縮症	2	1	1										
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2				1							1	
50	肥大型心筋症	4	1		1				1	1				
51	拘束型心筋症													
52	ミトコンドリア病													
53	リンパ脈管筋腫症(LAM)													
54	重症多形滲出性紅斑(急性期)													
55	黄色靱帯骨化症	4	1	2								1		
56	間脳下垂体機能障害	17	5	3	5	1			1			2		
	合計	757	189	138	134	109	8	15	16	24	11	103	5	5

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

疾患系	支援計画策定件数	支援計画評価件数
膠原病系	6	0
消化器系	19	0
神経系	26	36
血液系	6	0
循環器系	1	0
その他	40	0
計	98	36

在宅療養支援計画策定・評価委員会開催状況

開催回数	8回
出席者	健康支援課 (管理栄養士、保健師、理学療法士) 延べ54名

イ 訪問相談事業

実施方法	(対象者) 実人員 30名 (訪問者) 保健師、管理栄養士、理学療法士 等					
	訪問相談 計画回数	訪問相談 対象延人員	訪問相談従事延人員			
事業結果 の概要			医師	看護師	保健師	その他
	63	63	0	0	66	3
	(主な相談内容) ・療養状況について ・申請、変更等の手続きについて ・服薬、治療等について					

ウ 医療相談事業

医療 相談 班数	医療相談 実施回数	医療相談 対象延人員	医療相談班従事延人員					計
			医師	看護師	社会福祉士	保健師	その他	
9	9	738	1	0	0	24	17	42

開催年月日	H25年7月3日	H25年7月9日
参加者数	88名	54名
実施内容	更新手続き時における療養・健康相談	更新手続き時における療養・健康相談
実施場所	富士吉田合同庁舎	大月市総合福祉センター
指導者の 所属、職、氏名	保健所保健師、保健所管理栄養士 保健所理学療法士	保健所保健師、保健所管理栄養士 保健所理学療法士

開催年月日	H25年7月11日	H25年7月12日
参加者数	82名	75名
実施内容	更新手続き時における療養・健康相談	更新手続き時における療養・健康相談
実施場所	上野原市文化ホール	いきいきプラザ都留
指導者の 所属、職、氏名	保健所保健師、保健所管理栄養士 保健所理学療法士	保健所保健師、保健所管理栄養士 保健所理学療法士

開催年月日	H25年7月16日	H25年7月18日
参加者数	109名	63名
実施内容	更新手続き時における療養・健康相談	更新手続き時における療養・健康相談
実施場所	富士吉田合同庁舎	大月市総合福祉センター
指導者の 所属、職、氏名	保健所保健師、保健所管理栄養士 保健所理学療法士 ピアカウンセラー(多発性硬化症)	保健所保健師、保健所管理栄養士 保健所理学療法士

開催年月日	H25年7月19日	H25年10月27日
参加者数	91名	15名
実施内容	更新手続き時における療養・健康相談	系統別医療相談会
実施場所	富士吉田合同庁舎	リバース和戸
指導者の 所属、職、氏名	保健所保健師、保健所管理栄養士 保健所理学療法士	医師、作業療法士、保健所保健師

開催年月日	H25年11月25日
参加者数	4名
実施内容	神経・筋疾患患者、家族の学習会 「自宅でもできる言語リハビリテーションについて」
実施場所	富士吉田合同庁舎
指導者の 所属、職、氏名	言語聴覚士 保健所保健師、保健所管理栄養士

相談内容

(件)

病気・症状に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・病気に関する情報 ・病状悪化、進行について ・療養状況について 	35
治療・服薬に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・薬の副作用について ・病院の追加や変更等について 	25
看護・日常生活に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅でできる運動について ・介助の方法について ・食事に関することについて 	10
福祉制度に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度について ・身体障害者手帳について 	17
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・就労について ・病院について ・経済的な不安 ・患者会について 	16
計		103

5 健康づくり関係

(1) 生活習慣病対策

ア 保健所保健医療計画の策定

すべての住民が、生涯にわたって幸せで豊かな生活を送るためには、心身ともに健康であることがなにより大切である。

このため、富士北麓地域保健医療計画（富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町＝6市町村）並びに東部地域保健医療計画（都留市、大月市、道志村、上野原市、小菅村、丹波山村＝6市村）を策定し、保健医療施策を展開している。

イ 市町村健康増進計画策定支援

「市町村健康増進計画」は、各市町村において策定している。各市町村の次期プランに向けて見直し・評価等へ支援をした。

ウ 市町村食育推進計画策定支援

市町村が、食育基本法に基づき食育推進計画を策定するよう指導及び支援した。

管内の状況：

- ・都留市、上野原市、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、丹波山村で策定済み
- ・富士吉田市、大月市、小菅村は策定へ向けて支援を継続した。

エ 生活習慣病予防講習会の実施

50人以下の小規模事業所の事業主及び衛生推進者等を対象に、職員の生活習慣病予防の重要性について理解を深めることにより、職員の健康の保持増進につながることを目的に講習会を実施した。

月 日	場 所	内 容	対 象 者
6月28日	富士吉田商工会議所	「生活習慣病予防について～食生活を考える～」 講師：山梨学院短期大学 教授 田草川憲男 氏	富士吉田商工会議所 商工業振興委員
12月18日	ハイランドリゾートホテル	「中高年齢者の健康管理について」 講師：保健所職員	富士急行株式会社社員 平成26年度定年退職者

(2) 健康づくり推進事業

ア 健やか山梨21推進事業

住民の健康づくりの実践と啓発のため、健康づくりの施策である「健やか山梨21（第2次）」の普及に努め、住民一人ひとりが、自らの生活習慣を見直し、健康づくりの実践ができるよう支援した。

※保健所が協力・支援している市町村の状況

市町村名	事業名	日 程	場 所
忍野村	平成25年度おしの村福祉健康まつり	平成25年7月7日 日	忍野村保健福祉センター

※「鳴沢村35回たっしやまつり」は大雪のため中止

*健康づくり委員・協議会等への支援

富士吉田市・大月市・上野原市・西桂町・忍野村・鳴沢村

イ 地域・職域保健連携推進事業

住民の生涯を通じて継続的な健康管理を図るため、地域保健・職域保健及び関係団体が連携し、効果的かつ効率的な保健事業を展開、推進することを目的とし、平成18年度に協議会を設置した。

委員任期2年 地域12名 職域6名 医療機関・健診機関・保険者等6名 計24名

平成25年度は富士・東部地域・職域保健連携推進協議会を10月、3月に開催した。

協議・検討事項

- 10月：1. 平成24年度富士・東部地域・職域保健連携推進協議会の取組み状況について
2. 山梨県地域・職域保健連携推進協議会の報告
3. 今年度の取組みについて
・特定健診・特定保健指導受診率アップに向けて
・若年層からの生活習慣病対策について
4. その他情報提供
- 3月：1. 今年度の取組み状況について
2. 来年度の取組みについて
・情報提供（協会けんぽの医療費分析について）
・来年度の取組み方針

ウ 禁煙・分煙推進事業

平成16年2月より県内の公共機関、事業所等に置いて受動喫煙対策を実施している施設を「禁煙・分煙認定施設」として認定している。さらに平成23年4月から時間帯禁煙や特定日禁煙を行っている飲食店を対象に、「禁煙推進店」を募集し、山梨県のホームページなどで公表している。

また、各機関に対して禁煙・分煙対策の推進を呼びかけている。

(ア) 認定事業

平成26年3月31日現在

敷地内禁煙	屋内禁煙 (建物全体)	屋内禁煙 (テナト等の一部)	完全分煙	合計
88	151	43	1	283

(イ) 禁煙推進店普及事業

禁煙推進店：3施設

エ 禁煙普及啓発活動

住民に対して、喫煙の及ぼす健康被害や禁煙支援等について啓発を行っている。

- a 富士河口湖町と共催で、中学校に対して防煙研修を実施。
- b 学校や企業等を対象に、たばこの害や防煙教育等に関する出前講座を実施。
- c 県民の日富士吉田会場などイベントにて、ポスター掲示とリーフレット配布。
- d ホームページや市町村広報での啓発を実施。等

オ 出前健康講座の実施

依頼のあった事業所、施設、学校等へ保健所職員が出向き、各種健康講座を実施した。

31会場 2,890人参加

(3) 栄養改善推進事業

食生活のあり方と密接な関連のある生活習慣病予防対策として、望ましい食習慣の定着や、エネルギー等の過剰摂取やカルシウム等の不足など栄養素の偏りの改善、減塩運動の推進等、正しい食生活と健康づくり運動に努めた。特に地域の食生活改善のリーダーである栄養士、食生活改善推進員および調理師組織の育成や資質の向上のための研修会等を開催した。

また、健康増進法に基づく特定給食施設等の把握および栄養管理指導を実施した。

ア 栄養指導・研修会の実施状況

地域住民への食生活改善のための集団指導及び講習会を実施した。また、生活習慣病等の疾病を有する者やその家族に対し、市町村や医療機関との連携をとりながら個々人に応じた専門的な栄養・食生活指導を行った。

イ 栄養士研修会

月 日	場 所	内 容	出席者
5月12日	光 千	「健やか山梨21（第2次）」	15
8月1日	昭和大学富士吉田校舎	「災害時の特定給食施設等のための給食マニュアル策定の手引きについて」「健やか山梨21（第2次）について」、「食中毒予防について」	262

ウ 行政栄養士業務検討会

月日	場所	内容	出席者
7月4日	富士吉田合同庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・H25年度事業計画について ・地域における行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活の改善の基本指針について ・低出生体重児について ・災害時の栄養・食生活支援マニュアルについて ・国民健康・栄養調査の実施について 	3
3月7日	富士吉田合同庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・H25年度事業のふりかえりとH26年度事業について ・低出生体重児について ・情報交換 	4

エ 食生活改善推進員研修会

月 日	場 所	内 容	出席者数
4月24日	さくやホール	「県民の栄養状態と生活習慣病対策」	219

*理事会・運営委員会等 6回開催

オ 調理師研修会

月 日	場 所	内 容	出席者数
10月9日	富士吉田合同庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 「健やか山梨 21（第 2 次）について」 「食品衛生について」 ・ 調理講習、試食 「富士北麓の野菜を使った料理」 ～蒸し料理他～ 	21

カ 特定給食施設等の指導

特定かつ多数の者に対して継続的に食事を供給する給食施設に対して、栄養管理の実施に関し必要な指導及び助言を行った。

		特定給食施設		その他の給食施設	計
		1 回 100 食以上又は 1 日 250 食以上	1 回 300 食以上又は 1 日 750 食以上	1 回 50 食以上又は 1 日 100 食以上	
給食管理者指導延施設数		14	4	38	56
集団指導	回数	1			1
	延施設数	100			100

(ア) 給食施設指導の状況

- ・ 医療機関 8 施設
- ・ 特定給食施設等 48 施設

(イ) 給食施設数

		管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設			栄養士のみの施設		管理栄養士・ 栄養士 どちらも いない施設 数
		施設数 (1)	管理栄養士数 (2)	施設数 (3)	管理栄養士数 (4)	栄養士数 (5)	施設数 (6)	栄養士数 (7)	
指定施設①	学 校 (01)								
	病 院 (02)								
	介護老人保健施設 (03)								
	老人福祉施設 (04)								
	児童福祉施設 (05)								
	社会福祉施設 (06)								
	事業所 (07)			1	1	1			
	寄宿舎 (08)			1	1	1			
	矯正施設 (09)								
	自衛隊 (10)								
	一般給食センター (11)								
	その他 (12)								
	計 (13)		0	0	2	2	2	0	0

1回300食以上又は1日750食以上 (指定施設①を除く②)	学 校 (14)	4	4	2	2	4	8	12	
	病 院 (15)			1	2	2			
	介護老人保健施設 (16)								
	老人福祉施設 (17)								
	児童福祉施設 (18)								
	社会福祉施設 (19)								
	事業所 (20)						1	1	
	寄宿舎 (21)								
	矯正施設 (22)								
	自衛隊 (23)	1	1						
	一般給食センター (24)								
	その他 (25)								
	計 (26)	5	5	3	5	5	9	13	0
1回100食以上又は1日200食以上 (①、②を除く)	学 校 (27)	3	3				6	6	2
	病 院 (28)			4	6	18			
	介護老人保健施設 (29)	1	1	5	6	11			
	老人福祉施設 (30)	1	1	1	2	1	3	10	1
	児童福祉施設 (31)			1	1	1	13	13	5
	社会福祉施設 (32)			1	1	2			
	事業所 (33)	3	3	1	1	1	2	2	3
	寄宿舎 (34)								
	矯正施設 (35)								
	自衛隊 (36)	1	1						
	一般給食センター (37)								
	その他 (38)								
計 (39)	8	8	13	17	34	24	31	11	
その他の給食施設	学 校 (40)						3	3	3
	病 院 (41)			2	2	8			
	介護老人保健施設 (42)								
	老人福祉施設 (43)	1	2	4	4	7	5	6	
	児童福祉施設 (44)						7	8	17
	社会福祉施設 (45)			1	1	1	2	4	1
	事業所 (46)						2	2	6
	寄宿舎 (47)								
	矯正施設 (48)								
	自衛隊 (49)								
	一般給食センター (50)								
	その他 (51)								
計 (52)	1	2	7	7	16	19	23	28	

キ 組織の運営支援 地域住民の食生活改善や健康づくりのため、その担い手である地域組織の育成を次のとおり行った。

組織名	会員数 (人)	開催回数 (回)
栄養士会	96	1
食生活改善推進員	894	4
調理師会	290	2

ク 健康づくりのための運動指導

運動不足が原因となる肥満、高血圧、高脂血症等の生活習慣病の予防等を目的に生活の中に運動を取り入れて、健康を維持増進するための、食生活改善推進員養成講習会等の場で、栄養指導を含めた運動指導等を行った。

ケ 市町村に対する支援

(ア) 市町村における地域栄養改善活動が円滑かつ適切に実施できるよう、技術的支援や連絡調整を行った。

(イ) 食生活改善推進員の養成

平成 25 年度

	富士吉田市	都留市	大月市	上野原市	道志村	西桂町	忍野村	山中湖村	鳴沢村	富士河口湖町	小菅村	丹波山村	計
食生活改善推進員組織の育成		1	8	1					2	1			13
栄養指導			8							1			9
運動指導			8										8
業務検討	3	3	3	2		3	4		2	2	1	1	24
その他	8		9	3	1	3	1			2	2		29
計	11	4	36	6	1	6	5		4	6	3	1	83

健康生活についての正しい知識と技術を学習し、自らがその実践者となり、その知識と実践力を活かして、地域住民の食生活改善や健康づくりの担い手として活動するボランティアの養成事業に協力した。

コ 市町村栄養士配置促進

市町村での、食育やメタボ予防、介護予防等の栄養サービスを必要とする人は増加している。

住民へ健康やQOL向上のためサービスを提供する必要から、未配置市町村へ地域の健康・栄養情報（食育や保健指導等）の活動拠点となるよう「管理栄養士・栄養士」の配置の促進を行なった。

＊「特定検診・保健指導実施に向けた、管理栄養士配置のため地方交付税措置が講じられている。」

※ 配置状況

富士吉田市・都留市・大月市・上野原市・西桂町・忍野村・鳴沢村・富士河口湖町

サ 病態別栄養相談指導

生活習慣病等の疾患を有する者やその家族に対し、その病態の改善やQOLの向上を支援するため、市町村や医療期間と連携し、個々人に応じた専門的な栄養・食生活指導を行った。

	実人員	延人員	主な疾患名
生活習慣病関係	5	9	糖尿病・脂血異常症・高血圧等
難病関係	2	2	ホルモン分泌不全性低身長症等
その他	0	0	障害者(知的・精神)
計	7	11	

シ 免許関係事務の状況

区分	免許申請	書換訂正	再交付証明
管理栄養士	11	1	0
栄養士	18	6	3
調理師	52	6	7
調理師試験受験願書受理者数	54		

(4) 歯科保健事業

ア 歯の無料相談所の開設

歯と口の健康週間（6月4日～10日）にあたり、歯と口腔の衛生に関する正しい知識の普及啓発と歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着、併せて早期発見、早期治療等の徹底により健康の保持増進に寄与することを目的とし、「歯の無料相談所」を開設した。

日時	平成25年6月1日（土）14:00～16:00
会場	ショッピングセンター Q-ST A 4階
主催	南都留歯科医師会
共催	山梨県富士・東部保健福祉事務所、山梨県歯科技工士会吉田支部、山梨県栄養士会富士・東部支部、山梨県歯科衛生士会南都留支部
内容	歯科検診、歯科相談、歯磨き指導、フッ素塗布、栄養相談、キャンペーン品・パンフレット配布 等

6 石綿（アスベスト）健康被害救済制度

労災保険法等で補償されない、中皮腫や石綿（アスベスト）による肺がんを発症している方及びこの法律の施行前にこれらの疾病により死亡された方の遺族に対して、「医療費等の救済給付」が支給される。

(1) 特別遺族弔慰金・特別葬祭料請求件数（特別遺族弔慰金等に係る制度の周知事業）

請求件数	相談件数
0	0

(2) 石綿健康被害救済制度の受理件数

申請件数	相談件数
0	2

7 個別・集団保健指導

(1) 所内相談

種別	延べ件数
結核	320
難病	421
精神	5
母子	3
その他	2
計	751

(2) 家庭訪問

種別	延べ件数
結核	119
難病	68
精神	0
母子	1
その他	3
計	191

(3) 健康教育

実施回数	内容・対象等
6回	<ul style="list-style-type: none"> ○喫煙防止教室 富士河口湖町立北中学校 対象：富士河口湖町 河口湖北中学1年生、2年生 80人 ○喫煙防止教育 富士河口湖町立西浜中学校 対象：富士河口湖町 西浜中学校1年生・保護者・学校関係者 14人 ○喫煙防止教育 富士河口湖町立勝山中学校 対象：富士河口湖町 勝山中学校1年生・学校関係者 36人+保護者 ○喫煙防止教育 富士河口湖町立勝山小学校 対象：富士河口湖町 勝山小学校6年生・学校関係者 39人+保護者 ○生活習慣病予防講習会 「生活習慣病予防について ～食生活を考える～」 講師：山梨学院短期大学 教授 田草川憲男 氏 対象：富士吉田商工会議所会員 25人 「中高年齢者の健康管理について」 講師：保健所職員 対象：富士急行(株)定年退職者 25人